

# 徳島市北井上小学校

## 1 学校の概要

- ① 児童数 209名
- ② 学校教育目標

人権尊重の理念に立ち、心身ともに健康で人間性豊かな行動力のある子どもを育成する。

めざす子ども像
○仲よく助け合う子ども
○元気でがんばりぬく子ども
○よく考え進んで学ぶ子ども

めざす学校像
○楽しい学校
○美しい学校
○伸びる学校

## ③ 環境目標・テーマ

- 環境にやさしい学校にしよう
  - ・ごみの分別，減量に努めよう。
  - ・ごみのリサイクルに努めよう。
  - ・節電，節水に努めよう。

## 2 行動方針

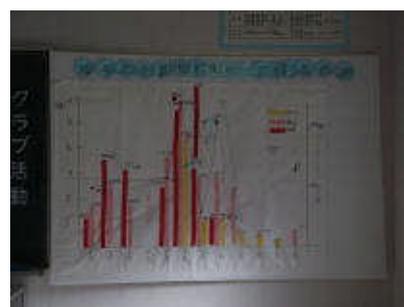
- ① ごみをきちんと分別します。
- ② 節電に努めます。
- ③ ごみのリサイクル活動に協力します。
- ④ 地域の環境美化に協力します。

## 3 行動

- ① 「学校版環境ISO」コーナーの設置



<環境コーナー>



<アルミ缶の回収量を示すグラフ>

- 毎週木曜日を「エコデー」とし、アルミ缶や食品トレイの回収を行っている。
- 環境コーナーには、学校の使用電力量やアルミ缶の回収量を月ごとに示したグラフを作成している。

② 児童朝会での報告（環境委員会：9月）

- アルミ缶の回収状況の報告と
- 節電と節水の呼びかけ

< 回収の呼びかけ >



- ・節電の呼びかけでは、自分たちにできる節電対策について具体的な事例を挙げて説明をした。
- ・身近な水の無駄遣い例も報告。

③ ごみ0ボランティア

（ボランティア委員会：6月1日）



- ・学年ごとに校内と学校周辺に分かれて、清掃活動を実施。

④ 愛校作業（8月19日）



- ・児童、保護者、職員が分担して、校内の清掃活動を実施。

4 具体的効果

- ◆ 節電・節水を呼びかけるポスターや使用量のグラフを掲示することで、一人一人が少しずつ意識するようになってきた。
- ◆ アルミ缶や食品トレイの回収量があまり伸びていなかったが、回収日に各教室へ行き呼びかけることで、意識できるようになってきた。
- ◆ 教室に「燃やせるごみ」と「燃やせないごみ」の2つのごみ箱を設置することにより、意識して確実に分別ができるようになった。

5 改善点

- ◆ 環境への取り組みが一部の児童に偏っているので、今後は啓発の仕方を工夫して、言葉で呼びかけるだけでなく、写真や記録をより多く掲示するようにし、目に見える形として成果を訴えられるようにしていきたい。
- ◆ アルミ缶回収の収益をどのように活用するかについて、代表委員会や環境委員会などで話し合い、目的意識をもって活動できるようにしていきたい。